

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆめの園みらいず笠幡 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 20日		～ R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 47人	(回答者数)	26人
○従業者評価実施期間	R7年 2月 10日		～ R7年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子供の状況を伝え合い、子供の健康や発達の状況について共通理解ができている	引継ぎの際に利用時の様子を細かくお伝えしている	引継ぎ時に相互間で問題される行動が浮き彫りになった際は、別に時間を設けて面談などを実施して解決にむけて話し合いをする
2	活動のプログラムが固定化されていない	同じプログラムが続かないよう気を付けている	ボランティア活動を増やししながら、より一層様々なプログラムを提供していく
3	こどもの活動スペースは十分に確保されている。	1つの部屋に大人数滞在することがないよう必要時以外は分散しながら活動をしている	第2農園を開拓するなど環境を整備しながら、活動スペースを拡張していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会がない	コロナウイルス流行に伴い、機会が少なくなっていった。	年1回は保護者同士で交流できるような機会を設けていく。駐車場の兼ね合いもあるので、開催場所を検討する。
2	家族支援プログラムや家族も参加できる研修会や情報提供の機会がない	コロナウイルス流行に伴い、機会が少なくなっていった。	子どもとの関わり方や日常での困りごとが解消できるような研修を実施し保護者にも参加の声掛けを行っていく。
3	他事業所の児童や児童館、地域のこどもと活動する機会が少ない	コロナウイルス流行に伴い、機会が少なくなっていった。	プログラムなどを通じて交流の機会を増やしていく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ゆめの園みらいず笠幡 児童発達支援・放課後等デイサービス

公表日 2025/3/10

利用児童数 47人

回収数 26人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	8			何人配置されているかわかりません もう少し多い方が個々の職員さんの負担が減りそうです。 その日に何人職員の方がいらしているかわからないので、なんとも言いえません。	従業員数などについては契約時以外にも面談などでも改めてお伝えする機会を設けます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1	1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	25	1				
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	2				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	2				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1				
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	13	5		障害の程度が重い児童が地域で活動することは容易ではありません。反面、比較的軽い利用者が多い事業所ほどこういった機会には恵まれると思うので、統計にはそのような事情も考慮してほしいです。	プログラムを通じて、他事業所のご利用者様と交流できる機会を増やします。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	8	6			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	26					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	5				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	13	7		放課後デイにここまでは求めていません。	保護者同士の交流がもてるような機会を設けていきます。
19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2					
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26				
非常 時 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	10	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	11	1	そういった訓練をいつしているのかわかりません。避難訓練をしたというのは知る限りでは聞いたことがないです	年2回避難訓練を実施しております。訓練実施後にSNS等を通じて発信していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	4			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	3			
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	2			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	1	おかげさまで送迎の際、行きも帰りもとてうれしそうにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	4		こちらの行き届かない部分までご支援いただき大変助かっております。いつも本当にありがとうございます。しだいに「キャンセル待ち」の日数が増えているので、利用者が増えている、それと1つの事業所としてカバーする地域の範囲が広すぎるのではないのでしょうか？日曜日の利用を再開するよりも、もう一つ事業所を増やして平日の対応を厚くした方がいいのでは？と考えるときがあります。支援については職員さんが皆親切で誠実に対応してくださっており大変満足しています。利用予約については不満があります。予め希望している曜日については利用予約が優先的にとれるようにしてほしいです。キャンセル待ちになってしまうと親が仕事の調整が必要になるため、翌月の予定が決まるまで不安です。	キャンセル待ちにつきまして、ご家族様にはご迷惑をお掛けしており大変申し訳ありません。利用枠に空きが出次第、キャンセル待ちの利用者様にご連絡します。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ゆめの園みらいず登壇 児童発達支援・放課後等デイサービス		公表日 2025年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	玄関前はスロープになっている。玄関や廊下には手すりを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		5Sチェックを毎週行うことで細部まで掃除や整頓が出来るよう努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		1on1を月3回行う中で、意見を聞いている。業務内容に改善が必要な際は、話し合いの場を設けて解決していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		R7年には外部評価で出来るよう努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		ジョブモデルを導入し、法定研修に加え、興味のある研修なども受講しやすい環境を整えている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	令和7年度4月からの公表に向け、準備を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日実施している朝礼の中で、伝達事項や支援時の注意事項を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	同法人内の他事業所児童とイベントなどで交流する機会は設けている。	交流する機会が少ないので、交流の場や一緒にできるイベントの開催を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		今後は積極的に参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		家族が参加できるようなプログラムを検討していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は鍵付きのキャビネットで保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4	2		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	アレルギー等対応一覧を作成し、昼食やおやつの際に確認しながら提供をしている。調理活動がある際は事前に扱う食材や調理内容を保護者に伝えている。	医師からの指示書があるなしについては改めて確認を行い、適切な対応が出来るよう努める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事案ごとにファイルに綴じ込み、いつでも確認できるようにしている。事案発生後に話し合いを行い再発防止策案を出し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			